

「勇往邁進」(ゆうおうまいしん)

令和元年5月21日

磐田中部小学校

第6学年 運動会号

いよいよ今週の土曜日は、小学校最後の運動会！

運動会(5月25日)が迫ってきました。今年は、今までの運動会とは違い、最上級生として、緑・黄・赤組を引っ張ります。出前応援では、6年生として堂々と下級生に応援を教える姿が見られ、子供たちの大きな成長を感じています。毎日、どのクラスからも力強い応援の声や、ソーラン節の音楽が聞こえてきます。子供たちの気合いや運動会に込める熱い思いが伝わってきます。運動会当日は、開・閉会式での司会をはじめ、応援合戦、一日を通しての応援、委員会での仕事と6年生が中心となって運動会を運営していきます。閉会の集いでの終わりの言葉は、6年生全員で発表します。最後までぜひ御覧ください。

6年生全員が参加をする、「勇往爆走中！」は徒競走(150m走)です。事前に記録を取った100m走の結果をもとに、3グループに分かれて、くじ引きをして出走順及び出走レーンを決定しました。男女別で競技を行います。

ほく、わたしは、第

レースの

レーンを走ります。

団体演技「勇壮！魂のソーラン」は、5年生の2月に6年生から教わり練習を続けてきたもので、中部小の伝統です。6年生が一丸となり、曲のもつ力強さや逞しさを全身で表現しようと練習を重ね、全力で取り組んできました。「6年生の魂」が伝わったら嬉しいです。子供さんがおおよそ、どの場所で踊るかを御家庭で確認してください。法被の準備もありがとうございました。

いずみ学習 今年のテーマは「生きる」



6年生のいずみ学習が本格的にスタートしました。今年のテーマは「生きる」。先日は、聖隷クリストファー大学の鈴木光男先生に來校いただき、お話をさせていただきました。今後は「生きる」ことを考えるとき、核となる「仕事」について学んでいきます。サッカー選手、ラグビー選手をはじめ、様々な方々と触れ合い、本物の体験をする中で、学びを深めていってほしいと願っています。

そこで、6月には、子供たちの一番身近な「家族の仕事」について知る学習を行います。子供たちが御家族の方々にインタビューを行いますので、御協力ください。よろしくお願ひします。

* 卒業式の服装について *

4月の懇談会のときに、卒業式の服装について以下のように説明させていただきました。学校の方針について御理解をいただき、本当にありがとうございます。参加されなかった御家庭もありますので、再度、お伝えします。御協力をよろしくお願いいたします。

学校では、卒業式を小学校生活集大成の場と捉え、子供たち自身にも保護者の皆様方にもこの6カ年の成長を感じてほしいと考えています。ですから、中部小学校では一人一人が壇上に立ち、自分の卒業に対しての思いを述べ、校長から証書を受け取っています。また、式の後半では練習を重ねた「別れの言葉」や合唱を披露しています。

中部小学校では、この数年、卒業式に袴姿で参加する子供が増えています。去年は、女子の半数近くが袴姿でした。基本的に様々な行事に参加するときの服装は、その場にあった服装で、と指導をしています。昨年度の子供たちの袴姿も、華やかで、とても可愛かったです。しかし、普段、着慣れていない服装で参加することで、下記のような課題も出てきています。

まず、子供の健康面です。着物を着るために、朝、5時頃起きて、支度をしていると聞きました。トイレに行くのも、大変です。式は、約一時間半かかります。極度に緊張する上、帯で締め付けられているので、体調が悪くなることもあります。次に安全面です。式の途中で、壇上に移動します。階段の上り下りがあります。つまづいたり転んだりする恐れもあります。また、最後の「別れの言葉」や合唱でも、練習してきた成果が十分に発揮できないことも考えられます。このように、健康、安全面で心配なことが多いです。

また、着付けや着物、袴のレンタルなど、費用面での御家庭の負担も少なくありません。御家庭の方針もありますので、袴を着用できる家庭ばかりではありません。あまり華美になりすぎないことが、様々な面で御家庭に負担をお掛けしないのではと考えています。

以上のようなことから、磐田市内でも卒業式の服装について保護者の皆様にご検討いただき、見直している学校が多いようです。

卒業式は、子供たちにとって人生の節目となる大切な儀式です。中部小学校としても、子供の健康、安全、そして式のもつ意味等を考え、卒業式での着物、袴の着用を控えていただければと考えています。御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

ジュビロ快勝！ 5月18日（土）

みんなの熱い声援が選手に届きました！

